

## 平成 29 年度 習志野市公営企業運営協議会第 3 回会議 会議録

1	会 議 名	平成 29 年度 習志野市公営企業運営協議会第 3 回会議																														
2	開 催 日 時	平成 30 年 2 月 5 日（月） 午前 10 時 30 分																														
3	開 催 場 所	習志野市企業局 新館 3 階 D E 会議室																														
4	出席者氏名	<p>出席委員</p> <p>伊東 弘樹 小澤 淳 佐々木 光世 鈴木 とし江 田久保 直子 田尻 正代 右島 信幸（議長） 三代川 浩一 森 英樹</p> <p>出席職員</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">企業管理者</td> <td style="width: 33%;">若林 一敏</td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td>業務部長</td> <td>市瀬 秀光</td> <td>工務部長 秋谷 修</td> </tr> <tr> <td>業務部次長</td> <td>市原 秀一</td> <td>工務部次長 真田 知幸</td> </tr> <tr> <td>営業企画室長</td> <td>江口 禎治</td> <td>総務課長 大山 勝巳</td> </tr> <tr> <td>経理課長</td> <td>渡辺 裕之</td> <td>料金課長 吉橋 敏夫</td> </tr> <tr> <td>営業企画室副室長</td> <td>森下 雅之</td> <td>営業企画室副室長 福田 淳</td> </tr> <tr> <td>工務管理課長</td> <td>大橋 高士</td> <td>建設課長 川嶋 一挙</td> </tr> <tr> <td>供給課長</td> <td>中村 充宗</td> <td>業務部主幹 吉川 充定</td> </tr> <tr> <td>業務部主幹</td> <td>板倉 尚子</td> <td>工務部主幹 御山 俊行</td> </tr> <tr> <td>工務部主幹</td> <td>丸山 善也</td> <td>工務部主幹 盛 康二</td> </tr> </table>	企業管理者	若林 一敏		業務部長	市瀬 秀光	工務部長 秋谷 修	業務部次長	市原 秀一	工務部次長 真田 知幸	営業企画室長	江口 禎治	総務課長 大山 勝巳	経理課長	渡辺 裕之	料金課長 吉橋 敏夫	営業企画室副室長	森下 雅之	営業企画室副室長 福田 淳	工務管理課長	大橋 高士	建設課長 川嶋 一挙	供給課長	中村 充宗	業務部主幹 吉川 充定	業務部主幹	板倉 尚子	工務部主幹 御山 俊行	工務部主幹	丸山 善也	工務部主幹 盛 康二
企業管理者	若林 一敏																															
業務部長	市瀬 秀光	工務部長 秋谷 修																														
業務部次長	市原 秀一	工務部次長 真田 知幸																														
営業企画室長	江口 禎治	総務課長 大山 勝巳																														
経理課長	渡辺 裕之	料金課長 吉橋 敏夫																														
営業企画室副室長	森下 雅之	営業企画室副室長 福田 淳																														
工務管理課長	大橋 高士	建設課長 川嶋 一挙																														
供給課長	中村 充宗	業務部主幹 吉川 充定																														
業務部主幹	板倉 尚子	工務部主幹 御山 俊行																														
工務部主幹	丸山 善也	工務部主幹 盛 康二																														
5	議 題 及 び 会議の概要	<p><b>会議の非公開について右島議長より諮問</b></p> <p>本日の議題「平成 30 年度習志野市公営企業会計予算案の概要」については、後日、平成 30 年習志野市議会第 1 回定例会に対し、正式に議案として提出するものであることから、現時点で公開で審議することは適当でないと考えられるため、会議を非公開とすることについて諮り、全員異議無く非公開と決定された。</p> <p><b>議題「平成 30 年度習志野市公営企業会計予算案の概要について」</b>  <b>経理課 渡辺課長より説明</b></p> <p><u>ガス事業予算案の概要</u></p> <p>1. 事業の概要</p> <p>(1)メーター取付増加件数 725 件を予定          年度末メーター取付件数 79,461 件を予定(対前年度比 0.9%増)</p> <p>(2)ガス源 65,474 千<math>m^3</math>(対前年度比 2.7%増)を予定          構成比：外国産天然ガス 74.8% 県内産天然ガス 25.2%</p> <p>(3)ガス販売量 64,694 千<math>m^3</math>を予定(対前年度比 2.7%増)</p> <p>(4)主な設備投資          ガス本支管工事 布設延長数 5,800m、工事費 8 億 7,400 万円を予定          (この工事により耐震化率が 65.9%となる。)</p>																														

## 2. 収益的収支状況

- (1) 事業収益 対前年度比 10.7%増の 74 億 8,680 万円を予定
- (2) 事業費用 対前年度比 11.2%増の 72 億 6,200 万円を予定
- (3) 消費税等控除後の損益 1 億 4,300 万円の利益計上を予定
- (4) 家庭用 0.5%、工業用 4.3%の他事業者への切り替えを想定

## 3. 資本的収支状況

資本的収入は、ガス本支管工事に伴うお客様工事負担金及び開発公社からの償還金等で、対前年度比 8.9%増の 4 億 5,100 万円を予定。

資本的支出は、主にガス本支管整備のほか、企業債償還金で、対前年度比 2.8%減の 12 億 2,130 万円を予定。

差引不足額 7 億 7,030 万円については、自己財源等で補填する。

## 4. 販売量及びガス売上の推移

ガス販売量を対前年度比 2.7%増と見込んでいる。ガス売上は、外国産天然ガスの値上がり想定から 8 億 1,254 万円増の 60 億 8,854 万円を予定。

## 5. 事業費用 構成別の推移

平成 29 年度と平成 30 年度を比較すると、原料・購入ガス費は外国産天然ガスの値上がり想定により、9 億 2,800 万円増加。費用相対では、対前年度比 11.1%、6 億 8,000 万円の増加。

## 6. 近隣ガス事業者との料金比較

平成 28 年度の一般家庭のお客様の 1 か月の平均使用量は 31 m<sup>3</sup>で、この使用量に対する平成 30 年 1 月現在の習志野市のガス料金は 3,875 円となる。他事業者との比較は資料のとおり。

## 水道事業予算案の概要

### 1. 事業の概要

- (1) メーター取付増加件数 717 件を予定  
年度末メーター取付件数 57,788 件を予定(対前年度比 1.3%増)
- (2) 水源 11,917 千m<sup>3</sup>を予定(対前年度比 0.1%増)  
構成比：地下水量 62.2% 受水量 37.8%
- (3) 水道販売量 11,437 千m<sup>3</sup>を予定(対前年度比 0.1%増)
- (4) 主な設備投資

水道本支管工事 布設延長数 3,400m 工事費 7 億 7,320 万円を予定  
(この工事により耐震化率が 42.0%となる。)

第 1 給水場更新・(仮称)第 4 給水場建設事業  
(平成 28 年度から平成 31 年度)

継続費総額 65 億 7,702 万 9 千円  
(うち平成 30 年度年割額 26 億 8,047 万 8 千円)

## 2. 収益的収支状況

- (1) 事業収益 対前年度比 2.8%増の 25 億 1,930 万円を予定
- (2) 事業費用 対前年度比 1.0%減の 20 億 4,240 万円を予定
- (3) 消費税等控除後の損益 2 億 4,180 万円の利益計上を予定

## 3. 資本的収支状況

資本的収入は、企業債の借入及び水道本支管工事に伴うお客様工事負担金等で、対前年度比 60.6%増の 18 億 1,320 万円を予定。

資本的支出は、第 1 給水場更新・(仮称)第 4 給水場建設事業のうち平成 30 年度の値上り分及び水道本支管の整備等で、対前年度比 49.4%増の 35 億 5,400 万円を予定。

差引不足額 17 億 4,080 万円は、自己財源等で補填する。

## 4. 販売量及び給水収益の推移

水道販売量を前年度とほぼ同量と見込み、給水収益は 640 万円減収の 17 億 790 万円を予定。収益の減収は、販売量のうち大口徑需要家について減収を見込んだことによる。

## 5. 事業費用 構成別の推移

平成 29 年度と平成 30 年度を比較すると、減価償却費が増加したが、その他は減少している。

その他では、主に固定資産除却費の減少により、費用相対で対前年度比 1.0%、2,000 万円減少の予定。

## 6. 北千葉広域水道企業団構成団体との料金比較

平成 28 年度の一般家庭のお客様の 1 か月の平均使用量は 19 m<sup>3</sup>で、この使用量に対する平成 30 年 1 月現在の習志野市の給水区域での水道料金は、2,475 円となる。他の構成団体との比較は資料のとおり。

## 平成 30 年度習志野市公営企業会計予算案の概要について

説明後、質疑応答

(三代川委員)

日本の経済は徐々に良くなりつつありますし、この一年で株価の大幅な上昇や有効求人倍率の改善が見られ、人手不足の面もあるかと思えます。資料のグラフでは人件費の上昇があまり拝見できませんが、職員の手当ての上昇が見込まれるのではないかと思います。その辺りはいかがでしょう

か。

(大山総務課長)

企業局の職員については、基本的には市の職員と同じ給与体系ですので、市の給与条例に準じて支給しております。

(三代川委員)

本庁と同じような考えということだと思いますが、本庁の方でも職員手当が上昇する可能性があるということもお考えなのでしょうか。

(大山総務課長)

公務員の給与につきましては、基本的に人事院勧告に準拠した形になっております。人事院勧告は、民間企業の平均給与と国家公務員の給与を比較して上げるか下げるかといった内容のもので、千葉県職員の給与は千葉県人事委員会勧告に準拠しております。習志野市職員の給与は、千葉県の人事委員会勧告に準拠した形で給与が決められており、民間企業とも均衡がはかられた給与となっております。

(鈴木委員)

収益的収支の、事業収益（消費税等含まず）・事業費用（消費税等含まず）の額に 1.08 を掛けても、事業収益（消費税等含む）・事業費用（消費税等含む）の額になりませんが、何か理由があるのでしょうか。

(渡辺経理課長)

非課税や不課税のものもあり、課税の部分だけを消費税計算しております。したがって、単純に 1.08 を掛けても（消費税等含む）の数字にはならないということでございます。

#### 議題「平成 29 年度習志野市ガス事業会計補正予算案の概要について」

経理課 渡辺課長より説明

##### 1. 補正の事由

- (1) 原料価格が想定より高値で推移していることから、売上原価の購入ガス費に不足が見込まれるため。また、原料費調整制度により、ガス料金に平均原料価格が反映されることから、営業収益のガス売上が増収となるため、営業収益及び営業費用を補正する。
- (2) 一般財団法人習志野市開発公社から長期貸付金に係る繰上償還の申し出があったため、投資その他資産の長期貸付金の一部の回収が見込めること及び繰上償還により貸付金の元本が減少し、営業外収益の受取利息が減収となるため、営業外収益及び投資その他の資産を補正す

る。

## 2. 補正予定額

### (1) 収益的収入及び支出

#### ・収入

営業収益 2億1,813万6千円増額の59億3,153万6千円を予定。

営業外収益 3千円減額の2億5,319万7千円を予定。

よって、事業収益は2億1,813万3千円増額の69億8,113万3千円を予定。

#### ・支出

営業費用 2億7,101万9千円増額の57億8,851万9千円を予定。

よって、事業費用は2億7,101万9千円増額の68億71万9千円を予定。

#### ・損益（消費税及び地方消費税控除後）

純利益 4,896万9千円減額の1億243万1千円を予定。

### (2) 資本的収入及び支出

#### ・収入

投資その他の資産 9億4,000万円増額の13億円を予定。

よって、資本的収入は9億4,000万円増額の13億5,420万円を予定。

## 平成29年度習志野市ガス事業会計補正予算案の概要について

### 説明後、質疑応答

(森委員)

先ほどご説明いただいた平成30年度ガス事業予算案の概要の平成29年度との比較は、補正前の状況で計上されているのでしょうか。

また、習志野市開発公社より長期貸付金に係る繰上償還の申し出があったとのことですが、今後新たな貸付の予定はないのでしょうか。

(渡辺経理課長)

一点目につきましては、当初予算との比較になっております。

二点目の今後の長期貸付金についてですが、留保額を公共投資に使うまでの間、長期貸付金として運用しているわけでございます。もし習志野市開発公社から依頼がございましたら、その時点の設備投資計画や市場金利を勘案し、検討してまいりたいと考えております。

## その他、ガス事業・水道事業について 質疑応答

(右島議長)

1月末から2月頭にかけて、だいぶ気温や水温が下がったことにより、近隣のガス会社では最高益の日があったと聞いております。当局においては、いかがでしたでしょうか。

		<p>(大橋工務管理課長)</p> <p>1月25日に20万m<sup>3</sup>を超えまして、ここ10年間のガスの送出量としては一番でございました。</p> <p>(佐々木委員)</p> <p>今年の冬は寒かったこともあり、朝、湯沸器のお湯が出ないことがありました。そのような時には、使わないほうがいいのでしょうか。</p> <p>(秋谷工務部長)</p> <p>凍結した場合は無理に出そうとせず、自然に溶けるまで待つのがよろしいかと思います。また、よく凍結してしまう場合は、業者へ保温処置をお願いしてもよろしいかと思います。</p>
6	お問合せ先	<p>所管課名：習志野市企業局 業務部総務課</p> <p>電話番号：047-475-3321</p>